

2019年度中間事業報告書

2019.4.1 — 2019.9.30



CASIO View



既存事業のさらなる強化を図るとともに、 新規市場の創造に注力します。

代表取締役 社長 榎尾 和宏

Q 当上半期の実績を教えてください

2019年5月、当社は常に新しい市場を創造し世の中に貢献し続ける企業に立ち戻るための「中期経営計画」を発表しました。その初年度となる当上半期、売上高は1,457億円、営業利益は166億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比14.6%増の127億円を達成し、目指す姿の実現に向けて好調なスタートを切りました。時計事業は、G-SHOCKのメタルモデルの拡大による効果で好調に推移しました。エリア別では、中国でG-SHOCK、特にEコマースでの販売が拡大し、同国では前年同期比で36%の大幅増収となりました。教育関連事業は、途上国における関数電卓の学販が好調に推移しました。楽器や電子辞書などの収益改

第2四半期連結累計期間の業績

	前年同期比
売上高	145,751百万円 100.4%
営業利益	16,662百万円 112.7%
経常利益	15,713百万円 109.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,731百万円 114.6%

善事業は、継続的に取り組んでいる構造改革が着実に効果を発揮し、営業利益は計画値を達成しました。

Q 今後に向けた下半期の重点戦略を教えてください

時計事業は、G-SHOCKのメタルモデルの投入をさらに加速します。特に中国では、G-SHOCKのメタルモデルとライフスタイルに合わせた提案により30代以上の男性にアプローチするとともに、Eコマースを通じて若い女性に訴求するなど、時代の変化にいち早く対応したメディア施策・流通施策を行い、新規ユーザー層を開拓します。このような中国市場での施策を他エリアにも応用展開することで、世界全体でのG-SHOCKの普及拡大を図ってまいります。

また、日本から世界へと活躍の場を広げるプロバスケットボールプレイヤーの八村塁選手とグローバルパートナーシップ契約を締結することにより、スポーツと親和性の高いG-SHOCKのプロモーションを全世界で強化し、さらなる市場の拡大を目指します。

教育関連事業は、関数電卓の学販強化に加え、電子化が進む北米の試験・教科書市場においてWEBアプリ事業を本格的に開始し、新しい数学教育のあり方を提案することで、時代とともに変わりつつある教育現場に貢献してまいります。

収益改善事業は、売上を伸ばすよりも利益を確保することを優先し、構造改革に注力します。楽器事業では、ラインアップの絞り込みや販売網再構築、スリムモデルの展開による物流費・製造コスト削減などにより大幅な収益改善を実現しており、このような構造改革を他事業でも推進することで、安定した収益構造の確立を進めてまいります。

一方、新規事業では、今までになかった新たな市場の創造によって社会に貢献するため、異業種とのオープンイノベーションで、新しい価値を生み出してまいります。スポーツテック事業は株式会社アシックス、ビューティーテック事業は株式会社コーセー、医療事業は千葉大学と信州大学、イメージングモジュールビジネスはルネサス エレクトロニクス株式会社と共創し、各社の強みと当社の強みを掛け合わせることで、これまでにない全く新しい体験をユーザーに提供します。例えば、ビューティーテック事業では、多様な嗜好や価値観を持つ消費者一人ひとりに最適な美容体験を提供できるネイルプリンターに関する共同開発を株式会社コーセーと行い、従来の常識を覆す全く新しいネイル文化を創出することを皮切りに、美容分野にチャレンジしてまいります。

さらに、新しい創造を続けるためには、組織と人材の活性化が不可欠です。従業員全員がやりがいを持ってモチベーション高く働けるよう、新人事制度の導入や働き方改革、新しいアイデアが生まれやすい開発環境の構築などを推進し、常に新しい市場を創造し世の中に貢献し続けてまいります。

Q 株主の皆さまへのメッセージをお願いします

当社は業績に連動した株主還元という方針の下、経営体質の強化を確実に進めてまいります。株主の皆さまへの配当については安定配当を基本としており、今回の中間配当額は22円50銭とさせていただきます。今後も株主の皆さまのご期待に沿えるよう、経営の革新に全力を尽くしてまいります。

CASIO

- 省電力/小型化/堅牢性等の技術
- スマートウォッチ開発
- センシングデバイス開発
- AIアルゴリズム開発

- 画像認識/処理技術
- インク吐出制御技術
- ハードウェアの開発

- 光学技術
- ライティング技術
- 画像処理技術
- AIアルゴリズム技術

- 画像処理技術

共創パートナー

スポーツテック
ランナー向け
統合サービス



- スポーツ工学研究所
- 高性能ランニングシューズの開発研究
- トータルファッション提案

ビューティーテック
新しい美容
文化の創出



- 化粧品開発技術
- ネイルデザインコンテンツ開発
- 美容市場の知見/チャネル

医療
臨床医向け
光学医療機器&
AI診断サポート
サービス



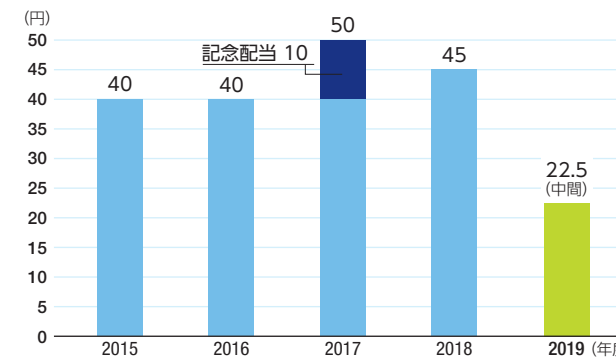
- 皮膚科学研究
- 医療機器共同開発
- 症例データ収集
- 臨床現場の知見

イメージング
モジュール
ビジネス



- AI処理半導体の開発技術

配当金の推移



時計事業

NEW PRODUCT

2019年6月7日発売

ジーショック

G-SHOCK
GMW-B5000V

ヴィンテージの
風合いを表現した
フルメタル“G-SHOCK”

初代の形状を受け継いだフルメタル「5000」シリーズの限定モデル。ケースとバンドに、長年使いこんでいるような独特な色合いを再現したエッジ加工を施しています。



NEW PRODUCT

2019年9月13日発売

プロトレックススマート

PRO TREK
Smart
WSD-F21HR

ペースを確認しながら
運動できるリストデバイス

心拍計測機能を新たに搭載することで、ランニングやトレイルランニング、サイクリングなどでのペース管理や、効率的なトレーニングに活用できるようになりました。



TOPICS

中国でEコマースのブランドイベントを開催

中国では、約10年前に“G-SHOCK”の本格展開をスタートし、3年前に開催した「SHOCK THE WORLD」から若者向けの施策を重ねる中で“G-SHOCK”ブランドの認知を拡大してきました。その結果2018年には、中国を代表するEコマースサイト「天猫(TMALL)」の販売イベント「スーパーブランドデー」に“G-SHOCK”が選ばれました。今年で2度目となるこのイベントは、選ばれたブランドだけが一日限定でフィーチャーされます。SNSを中心としたオンラインでの情報発信に加えて、オフラインでもイベントを開催し、集客の接点拡大と効率化を図ることで、目標を大きく上回る売上を達成しました。

この上半期には、中国の時計の売上高が対前年136%を達成。今後も、広大な中国大陸でエリアごとにローカライズさせた緻密な施策と大型のブランド発信の施策を継続して実施し、中国No.1の時計ブランドを目指します。

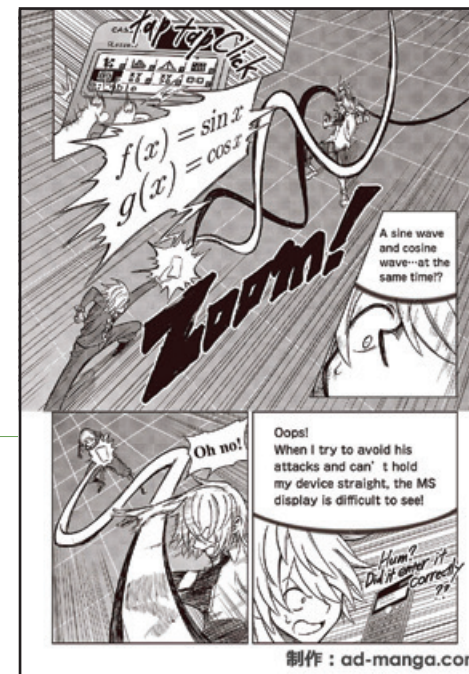


教育関数事業

TOPICS

タイで学生向けの
漫画・ゲームを提供開始

5月のタイでの新学期に合わせ、新たなプロモーション施策として関数電卓を購入したユーザーへ向けたプレミアムコンテンツの提供を開始しました。関数電卓を使用する学生が楽しみながら数学に親しめるよう漫画や数式を用いたゲームをオリジナルで作成。タイでは学校現場での関数電卓の使用が拡大しており、今後もこうした取り組みを通じて当社の関数電卓の売上拡大を図っていきます。



女性科学者をイラストにした
オリジナルパッケージの
関数電卓を発売



スペインで、理数系分野における女性の活躍を応援する試みとして、著名な女性科学者のイラストを描いたオリジナルパッケージの関数電卓を販売しました。イラストには、キュリー夫人やヒュパティアといった歴史上の有名な女性科学者が描かれているほか、パッケージにあるQRコード*を読み取るとWEB上で女性科学者のストーリーを読むことができる仕組みとなっています。関数電卓を通じて、理数系学生の拡大や教育現場への貢献も図っていきます。 *QRコードは(株)デンソーウェアの登録商標です。

新規事業

TOPICS

遠隔操作で自分撮りができるカメラ
シェアリングサービスを実験

当社とKDDI株式会社は、開発中のカメラシェアリングサービス“マチカメ”の実証実験を、今年9月7日から10月31日まで長崎県佐世保市のハウステンボスで実施しました。“マチカメ”は、来場者が自分のスマホで撮影スポットにあるQRコード*を読み取り、離れた場所に設置している固定カメラのシャッターを遠隔操作して自分撮りができるサービスです。大きな建物を背景にするなど、いわゆる「自撮り」では撮りにくい構図でも撮影できることから、今後は、両社が提供する協業サービスとして、観光地やテーマパークなどをターゲットに事業化を目指します。



*QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

収益改善事業

NEW PRODUCT

2019年6月発売

XJ-S400UN



ワンクリックで
無線投映できる
水銀フリープロジェクター

簡単に無線投映ができる機能や、最大40端末からの投映を一括管理できる機能など、9つのエデュケーションル・ソリューション機能 (ES機能) を搭載し、ICT教育をサポートします。

NEW PRODUCT

2019年9月27日発売

カシオトーン

Casiotone
CT-S200

手軽に持ち運べる
軽量・コンパクトな電子キーボード

“Casiotone”のコンセプトを「いつでも、どこでも、いい音で、自分らしく楽しめる」と再定義。手軽に音楽を楽しめるよう、コンパクトサイズに仕上げるとともに、使いやすさにもこだわりました。



TOPICS

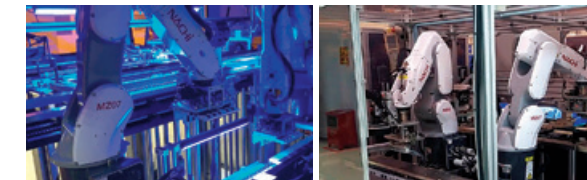
電子辞書のウェブ取扱説明書が
「マニュアル オブ ザ イヤー」を受賞

当社の電子辞書「EX-word XD-SRシリーズ」のウェブ取扱説明書が、一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会が主催する「ジャパンマニュアルアワード2019」において、「マニュアル オブ ザ イヤー」に選出されました。「XD-SRシリーズ」の取扱説明書では、利便性やペーパーレスという環境配慮の観点からウェブ形式を採用しています。今回、操作方法を動画で直感的に知りたいというお客様のニーズに合わせて、基本的な操作説明は4種類の動画を用意したほか、ウェブの特性を生かした検索性やインターフェイス面の閲覧性での優れた点が評価され、受賞にいたしました。



電子楽器の生産を自動化、
AIによる異音の検査で品質向上を追求

電子ピアノ“Privia”の生産では、ロボットによる鍵盤の自動組立ラインを導入しました。これにより、人が行っていた従来の組立ラインと比較して、鍵盤の生産効率が1.6倍に上がり、作業時間も60%減を達成するなど効率的なものづくりを実現しています。また、最新技術のAI(人工知能)を使い、楽器の音質不良を自動で検査できる技術を開発。正確な検査による品質向上と検査時間の短縮を可能とする自動機を、今年度中に導入する計画です。



CSR

TOPICS

世界を代表するESG投資指数の
構成銘柄に継続選定

世界の代表的なESG投資指数である「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に4年連続、「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に3年連続で選定されました。「FTSE4Good Index Series」は、ロンドン証券取引所グループに所属するFTSE Russellが開発したESGの観点から、世界基準を満たす企業が選定されます。「FTSE Blossom Japan Index」は、ESGに対して優れたパフォーマンスを発揮している日本企業を選定しています。



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan

千葉大学
皮膚科学 助教
外川 八英
先生

専門医の要望を最適な形で実現

皮膚観察用に特化したデジタルカメラを開発

医療現場のニーズを徹底的に 反映させた専用カメラ

ダーモスコピーは皮膚に強い光を当てて拡大することで、皮膚内部まで観察することができ、皮膚がんなどの早期発見に役立つ検査として20年ほど前から行われてきました。これまでは専用レンズを市販のカメラに外付けして使用していたので、壊れやすい、重いなどの課題がありました。また、偏光・非偏光撮影をするためにアタッチメントを換えたり、拡大撮影以外にも患部の周辺までを写すために通常のデジタルカメラも必要であったりと、手間が多くかかっていました。こうした課題について外川先生をはじめとする先生方にお聞きし、皮膚科の診療に特化したカメラ、レンズ、ライトの専用

設計・開発に着手しました。

先生方からはさまざまな要望をいただき、コミュニケーションを重ねながら作り上げていったのですが、その際に重要だったのが、必要以上の機能や性能にせず、現場のニーズ・使い方に最適なカメラにするということでした。例えば、小型軽量化はカシオの得意分野ですが、先生方が使いやすいサイズと重さがありますので、そこに最適化させました。一般のデジタルカメラには解像度を調整するモードがありますが、このカメラは最高画質だけが必要なので解像度を調整するモードはありません。逆に、必要な機能や性能は徹底的に盛り込みました。1回シャッターを切れば偏光・非偏光・UVの3モードで撮影できる、接写でありながら必要な被写界深度が得られるオールインフォーカス機能、周辺解像度も鮮明な専用レンズ、拡大縮小に



事業開発センター
DC企画推進部
部長
北條 芳治

皮膚科にはダーモスコピーという特殊なルーペで病変などを観察するダーモスコピーという検査があります。当社はこの検査の習熟度を高めていただくことを目的とした「ダーモスコピー学習用サービス」を大学病院などの皮膚科ドクターと共同開発して提供してきました。このサービスを進めていく中で、先生方からダーモスコピー専用カメラを作ってほしいとお声をいただき発売したのが、一般医療機器の「ダーモカメラ DZ-D100」です。その開発経緯と特長などを、開発にご協力いただいた千葉大学大学院医学研究院の外川八英先生と事業開発センター・DC企画推進部長の北條 芳治に聞きました。

連動し計測したい向きに回転できるスケール表示、撮影画像をWi-FiでPCに自動転送し、画像管理ソフト上でIDごとに画像を自動振り分けするなど、医療現場のさまざまなニーズに応えました。独特なフォルムも、先生方のニーズを聞いて機能を付加し、ユーザービリティを考慮してデザインした必然の形です。

医療分野に対する 今後の展開

外川先生によると、メラノーマという皮膚がんも多くの方が亡くなっていますが、早期に発見すれば単純な手術で治すことができるそうです。早期発見を実現していくためには、皮膚科医全体のダーモスコピー習熟度を高め、ダーモスコピーを行う環境を充実させていく必要があります。当社は、

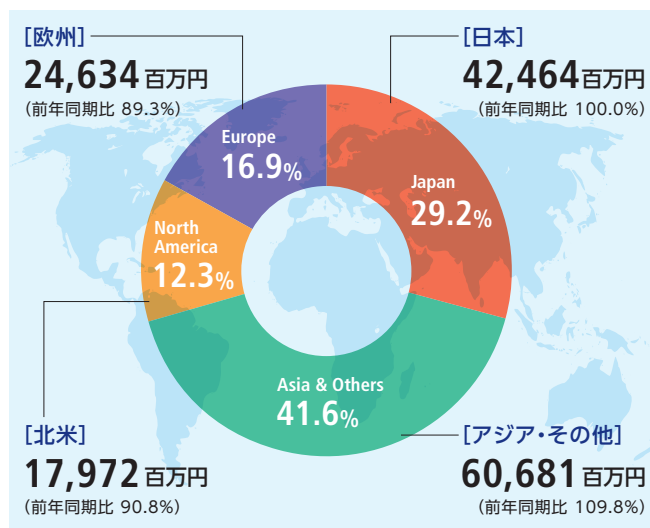
ダーモスコピーのスキル向上に役立つ「ダーモスコピー学習用サービス」と皮膚科医向け専用カメラ「ダーモカメラ DZ-D100」を皮膚科診療の今後に資する両輪のツールとして捉え、先生方と協力してさらに進化させてまいります。また、今後の遠隔医療の進展においては、こうした学習サービスと医療用カメラの役割がより重要になると考えております。

今後は、他の医療分野での展開も検討していくなど、コンシューマ向けから法人向けまで多彩な製品を扱う当社の強みを医療分野においても発揮してまいります。今回の取り組みは中期事業戦略で掲げた「新規事業の創出」の一つで、大学病院・ドクターとの共創です。当社はこうした共創を積極的に展開していくことで、新しいユーザーに新しい体験を提供してまいります。

業績ハイライト

科目	第2四半期連結累計期間	
	2019年度	2018年度
経営成績		
売上高 (百万円)	145,751	145,116
営業利益 (百万円)	16,662	14,784
経常利益 (百万円)	15,713	14,383
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)	12,731	11,112
1株当たり 四半期純利益 (円)	52.12	45.11

売上高の地域別構成比



当第2四半期連結累計期間の業績概要

当上半期における内外経済は、国内では消費増税を控え、個人消費は底堅く推移しましたが、激化する米中貿易摩擦の影響や英国のEU離脱を巡る混乱などにより、景気の減速感が一段と強まり、世界経済の先行き不透明な状況が継続しました。

この環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比0.4%増の1,457億円となりました。セグメント別内訳は、コンシューマが1,266億円、システムが161億円、その他が28億円となりました。

時計は「G-SHOCK」のフルメタル『GMW-B5000』の好調に加え、新製品『GM-5600』などのラインアップ拡大により、グローバルで「G-SHOCK」のメタルが好調に推移しました。また、中国でのプロモーション効果により、Eコマースを中心に「G-SHOCK」の好調が継続しました。「G-SHOCK」以外では、新製品の超薄型モデル「OCEANUS」の『OCW-S5000』や

「EDIFICE」の『EQB-1000』など独自の差別化を図った製品が好調に推移しました。楽器は新製品のSlim&Smartモデルの好調継続、システムは電子レジスターの国内軽減税率対応による需要が拡大しましたが、プロジェクターの教育ソリューション(ES)シリーズの浸透遅れにより減収となりました。

損益につきましては、営業利益はコンシューマが207億円、システムが△5億円、その他が1億円、調整額が△36億円で前年同期比12.7%増の166億円となりました。

時計は「G-SHOCK」の好調により、高収益性を維持、楽器は高収益性のSlim&Smartモデルの拡大と構造改革効果により収益体質が改善しました。

また、経常利益は157億円(対前年同期比9.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は127億円(対前年同期比14.6%増)、1株当たり四半期純利益(EPS)は52円12銭と改善しました。

売上高のセグメント別構成比

システム

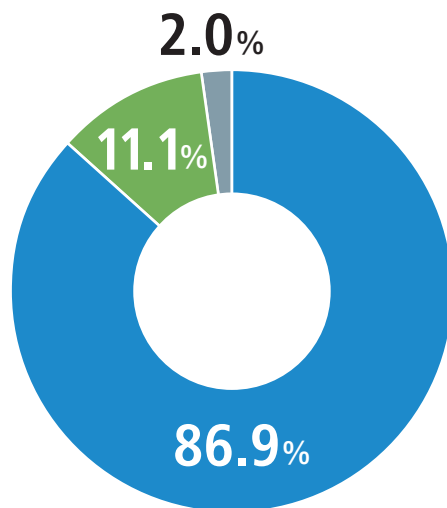
ハンディターミナル、電子レジスター、経営支援システム、データプロジェクター等

売上高 **16,185**百万円
(前年同期比 90.8%)

その他

成形部品、金型等

売上高 **2,868**百万円
(前年同期比 78.9%)



コンシューマ

ウォッチ、クロック、電子辞書、電卓、電子文具、電子楽器等

売上高 **126,698**百万円
(前年同期比 102.5%)

合計
145,751百万円
(前年同期比 100.4%)

通期の業績見通し

為替円高の影響により2019年5月14日に公表した2020年3月期の通期連結業績予想の売上高につきましては、3,150億円から3,100億円に修正いたします。

当グループは今後も全世界で通用する独自技術を生かした新製品の積極的な世界展開により、長期的視点に立った収益力強化、経営・財務体質強化に取り組みます。

2019年度通期業績見通し(連結)

売上高	3,100億円 (前期比 104.0%)
営業利益	315億円 (前期比 104.1%)
経常利益	310億円 (前期比 103.7%)
親会社株主に帰属する当期純利益	225億円 (前期比 101.6%)

■ 貸借対照表

科目	当第2四半期 連結会計期間	前連結会計年度
	(2019年9月30日現在)	(2019年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	223,881	238,616
現金及び預金	77,168	73,714
受取手形及び売掛金	40,135	44,141
有価証券	36,000	50,000
製品	36,762	39,061
仕掛品	5,202	5,836
原材料及び貯蔵品	8,945	9,377
その他	20,173	17,043
貸倒引当金	△504	△556
固定資産	117,844	118,914
有形固定資産	60,311	56,805
土地	33,553	33,564
その他(純額)	26,758	23,241
無形固定資産	8,929	8,978
投資その他の資産	48,604	53,131
投資有価証券	26,090	30,630
退職給付に係る資産	11,819	11,414
その他	10,758	11,153
貸倒引当金	△63	△66
資産合計	341,725	357,530

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間	前連結会計年度
	(2019年9月30日現在)	(2019年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	63,498	82,763
支払手形及び買掛金	22,264	28,522
短期借入金	173	232
1年内償還予定の新株予約権付社債	-	10,003
未払法人税等	2,943	3,584
製品保証引当金	778	781
事業構造改善引当金	208	212
その他	37,132	39,429
固定負債	69,367	63,173
長期借入金	62,805	58,988
事業構造改善引当金	1,020	1,020
退職給付に係る負債	567	578
その他	4,975	2,587
負債合計	132,865	145,936
(純資産の部)		
株主資本	207,714	205,451
資本金	48,592	48,592
資本剰余金	65,042	65,058
利益剰余金	118,948	111,757
自己株式	△24,868	△19,956
その他の包括利益累計額	1,146	6,143
その他有価証券評価差額金	6,274	8,246
為替換算調整勘定	△6,988	△4,178
退職給付に係る調整累計額	1,860	2,075
純資産合計	208,860	211,594
負債純資産合計	341,725	357,530

■ 損益計算書

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	(2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	(2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
売上高	145,751	145,116
売上原価	82,098	80,239
販売費及び一般管理費	46,991	50,093
営業利益	16,662	14,784
営業外収益	689	664
営業外費用	1,638	1,065
経常利益	15,713	14,383
特別利益	3,004	275
特別損失	770	42
税金等調整前四半期純利益	17,947	14,616
法人税等	5,216	3,504
四半期純利益	12,731	11,112
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12,731	11,112

■ キャッシュ・フローの状況

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	(2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	(2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,492	2,669
投資活動によるキャッシュ・フロー	428	△5,954
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,313	△7,721
現金及び現金同等物の四半期末残高	125,764	124,502

■ 財務指標

科目	第2四半期連結累計期間	
	2019年度	2018年度
財政状態		
自己資本比率 (%)	61.1	59.5
D/E レシオ* (倍)	0.30	0.34
その他		
設備投資額 (百万円)	2,384	2,856
減価償却費 (百万円)	2,517	2,621

*D/Eレシオ=期末有利子負債/期末自己資本

CASIO HOME PAGE
<https://www.casio.co.jp/ir/>

5年分の財務情報は
ホームページで
ご覧いただけます。

財務情報(業績)

「業績」の
「詳細はこちら」
をクリック

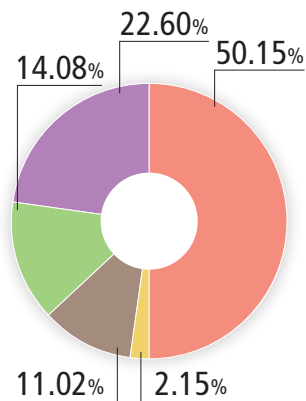
■ 株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数.....471,693,000株
 発行済株式の総数.....259,020,914株
 株主数.....35,627名

■ 所有状況

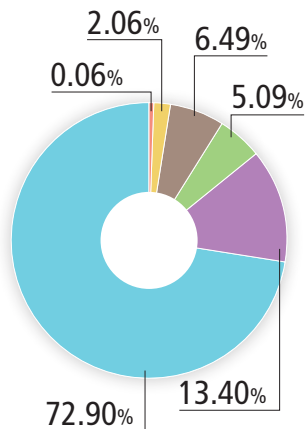
所有者別内訳

金融機関 **129,887,619 株**
 (株主数 80名)
 証券会社 **5,579,511 株**
 (株主数 37名)
 その他の法人 **28,536,671 株**
 (株主数 290名)
 外国法人等 **36,470,223 株**
 (株主数 555名)
 個人・その他 **58,546,890 株**
 (株主数 34,665名)



所有株式数別内訳

百株未満 **142,879 株**
 (株主数 3,556名)
 百株以上 **5,345,742 株**
 (株主数 22,798名)
 1千株以上 **16,799,755 株**
 (株主数 8,604名)
 1万株以上 **13,191,741 株**
 (株主数 509名)
 10万株以上 **34,715,076 株**
 (株主数 116名)
 100万株以上 **188,825,721 株**
 (株主数 44名)

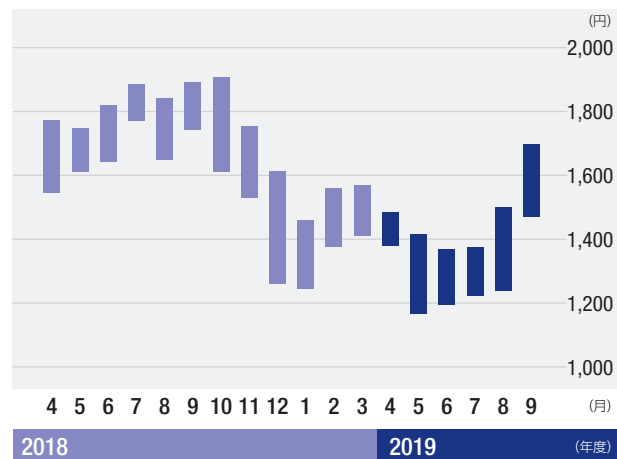


■ 大株主 (2019年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	34,849	14.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,809	6.93
日本生命保険相互会社	12,985	5.35
有限会社カシオプロス	10,000	4.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	7,000	2.89
株式会社SMBC信託銀行(株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	6,365	2.62
株式会社三井住友銀行	5,937	2.45
株式会社三菱UFJ銀行	4,097	1.69
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	4,041	1.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	3,775	1.56

(注1)持株比率は自己株式(16,450,791株)を控除して計算しております。また、自己株式は上記大株主からは除外しております。
 (注2)株式会社SMBC信託銀行(株式会社三井住友銀行退職給付信託口)の持株数6,365千株は、株式会社三井住友銀行が議決権行使の指図権を留保しております。

■ 株価の推移



会社概要

—2019年9月30日現在

商号 カシオ計算機株式会社
 英文商号 CASIO COMPUTER CO., LTD.
 本社 東京都渋谷区本町一丁目6番2号
 TEL: 03-5334-4111 (代表)

設立年月日 1957(昭和32)年6月1日
 資本金 48,592,025,877円
 従業員数 11,408名(連結)

役員

—2019年11月1日現在

〈取締役〉

代表取締役 榎尾 和宏 (執行役員兼務)
 取締役 山岸 俊之 (執行役員兼務)
 高野 晋 (執行役員兼務)
 榎尾 哲雄 (執行役員兼務)
 社外取締役 尾崎 元規
 取締役 監査等委員(常勤) 内山 知之
 社外取締役 監査等委員 千葉 通子
 阿部 博友

〈執行役員〉

社長 榎尾 和宏
 専務執行役員 増田 裕一
 常務執行役員 榎尾 隆司

執行役員 山岸 俊之 中山 仁 井口 敏之 河合 哲哉
 高野 晋 矢澤 篤志 太田 伸司 青鹿 行男
 榎尾 哲雄 守屋 孝司 田村 誠治 中村 慎一
 伊東 重典 植原 正幸 泉 徹郎
 持永 信之 稻田 能之 加藤 朋生

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎. 0120-782-031 (受付時間 平日午前9時～午後5時)
(ホームページ)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 下記の当社ホームページに掲載する。 https://www.casio.co.jp/ir/announce/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載する。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

株式に関する住所変更等の お届出及びご照会について

株式に関する各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)につきましては、証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

本報告書に関するお問い合わせ先

カシオ計算機株式会社
総務部
TEL : 03-5334-4836

皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を当選させていただきます



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 6952

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた
携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL : 03-6779-9487(平日10:00~17:30) MAIL : info@e-kabunushi.com

CASIO

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町一丁目6番2号

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC
www.fsc.org
FSC® C013080

Printing, Naturally.